

愛知県の地域特性及び南海トラフ 地震の被害想定等について

愛知県 54市町村(38市 14町 2村)

※全市町村が南海トラフ地震防災対策推進地域に指定

○人口:7, 448, 620人(うち名古屋市 2,329,649人) (2025年4月1日現在)

○指定避難所数:3, 143か所(うち名古屋市 877か所) (2024年地域防災計画)

○避難者数(発災1日後):718, 000人(うち名古屋市 311,000人)

(平成23年度～平成25年度 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果)

3市町が南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域指定市町村に指定。(豊橋市、田原市、南知多町)

(指定基準の概要)

- ・津波により30cm以上の浸水が地震発生から30分以内に生じる地域
- ・特別強化地域の候補市町村に挟まれた沿岸市町村
- ・同一府県内の津波避難対策の一体性の確保

※浸水深、浸水面積等の地域の実情を踏まえ、津波避難の困難性を考慮

豊橋市 人口:364,737人(2025年4月1日現在)
指定避難所数:175か所 避難者数:43,000人

田原市 人口:58,204人(2025年3月31日現在)
指定避難所数:36か所 避難者数:19,000人

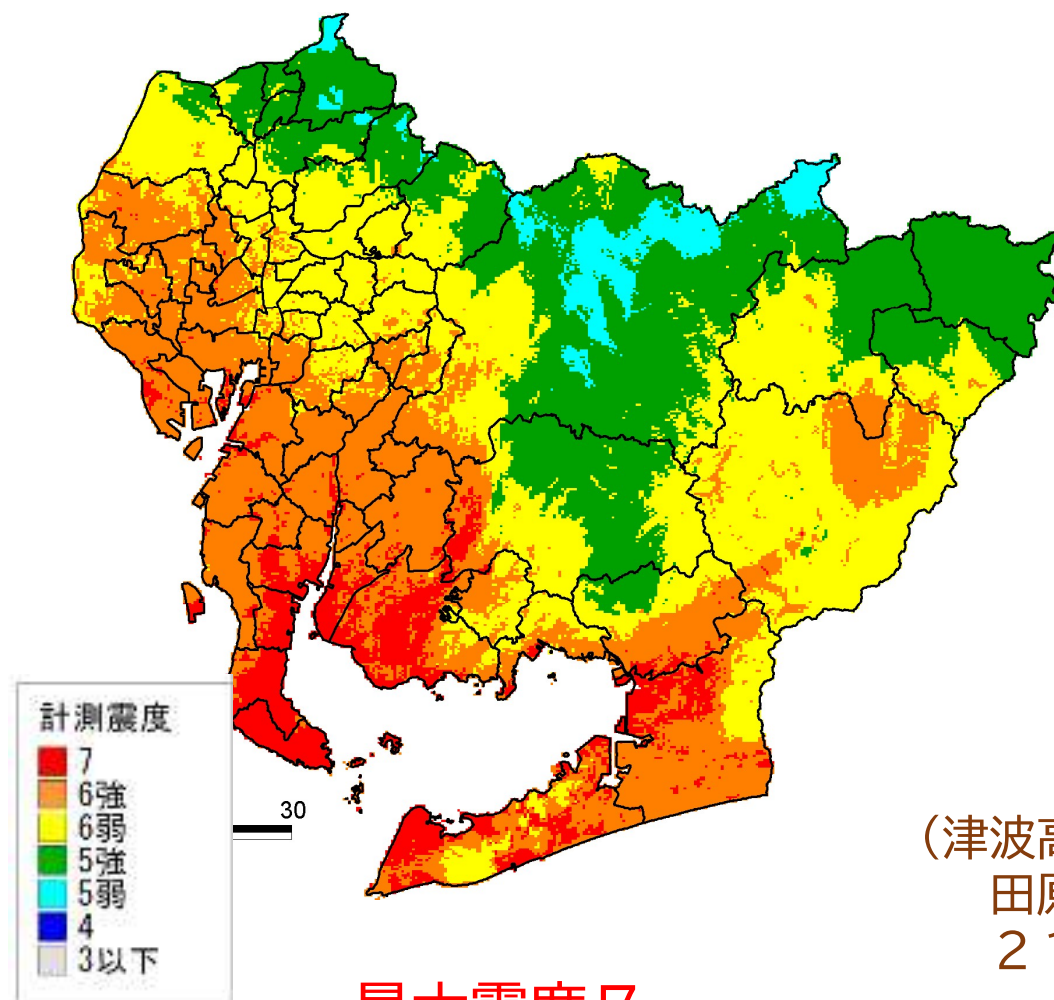
南知多町 人口:15,455人(2025年3月31日現在)
指定避難所数:12か所 避難者数:9,700人



理論上最大想定モデル

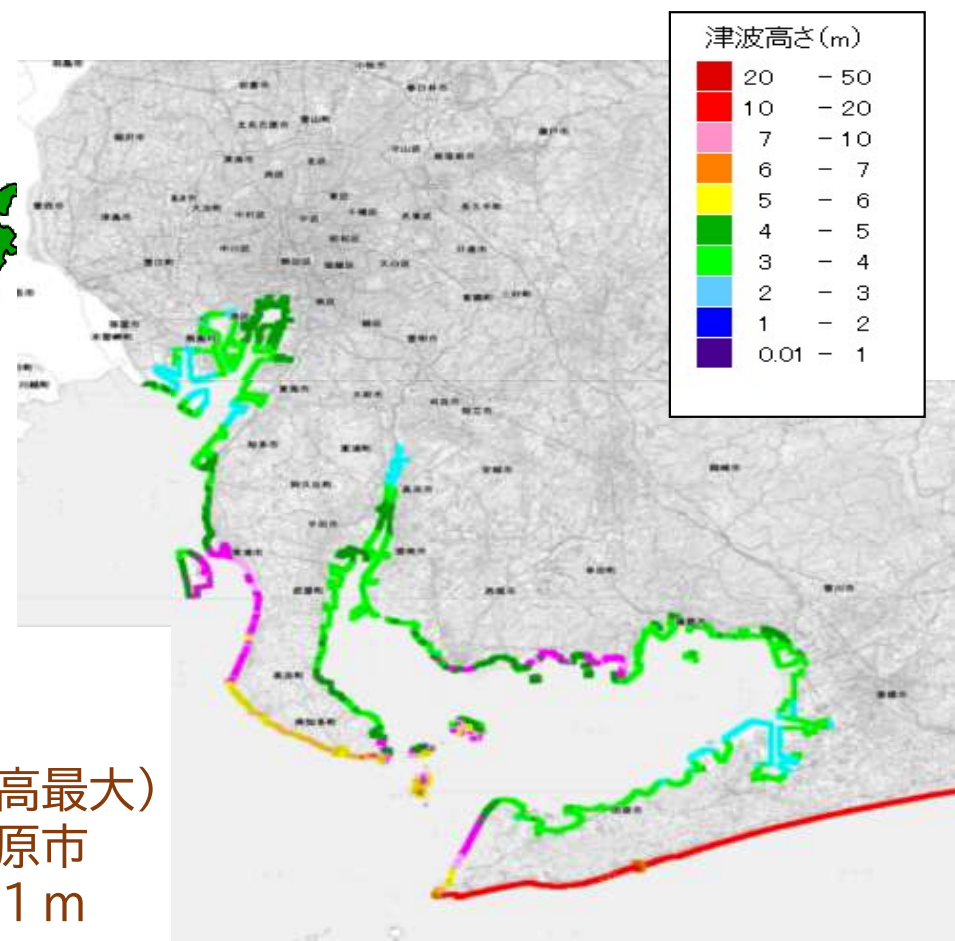
→南海トラフで発生する恐れのある地震・津波のうち、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波を想定。

●調査結果（震度分布）



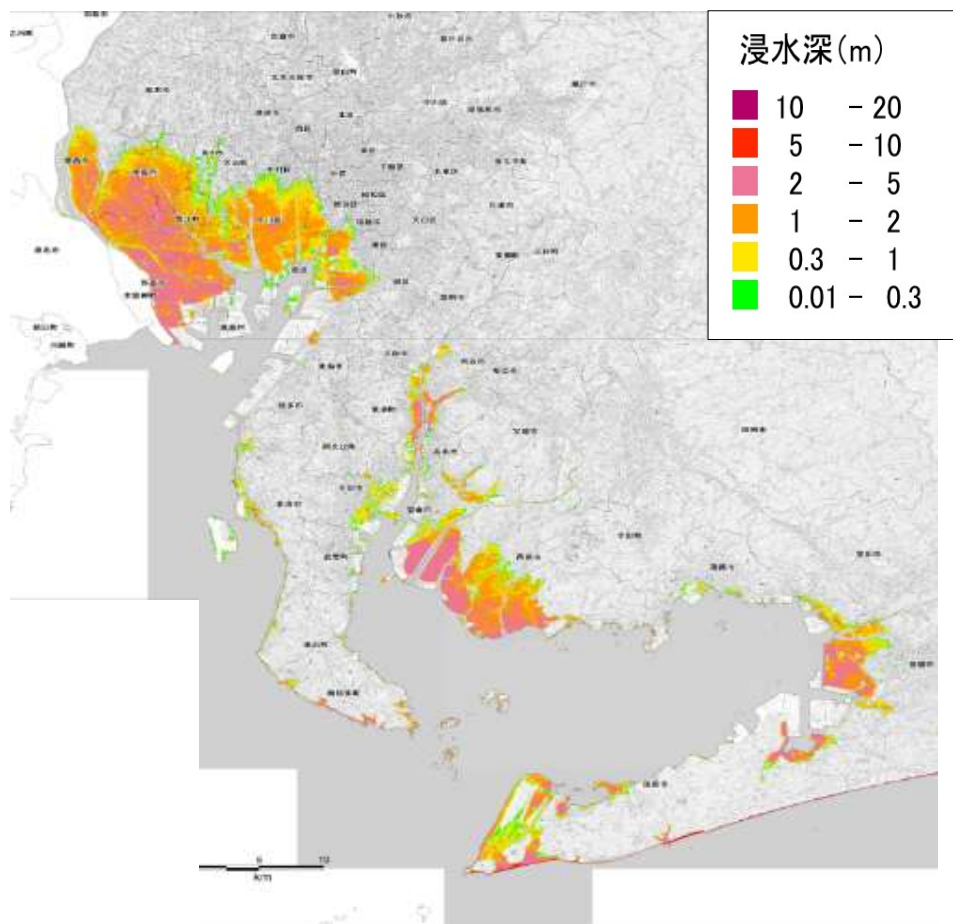
最大震度 7

●調査結果（津波高）

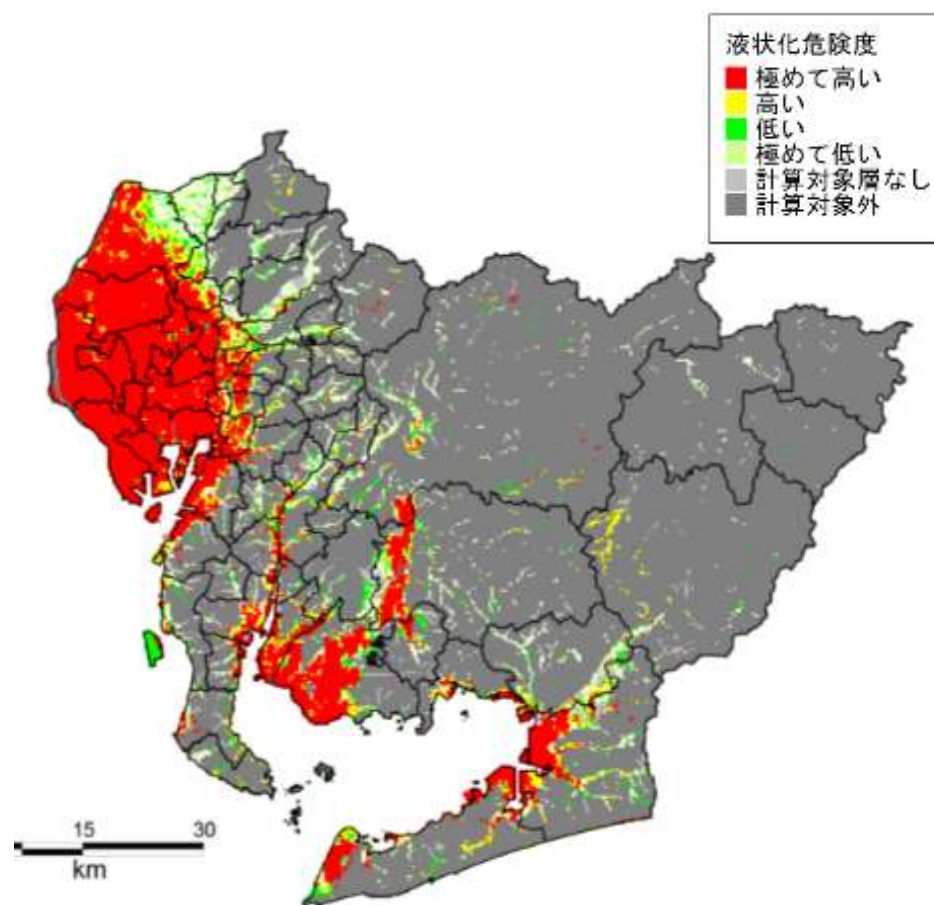


●調査結果（浸水分布）

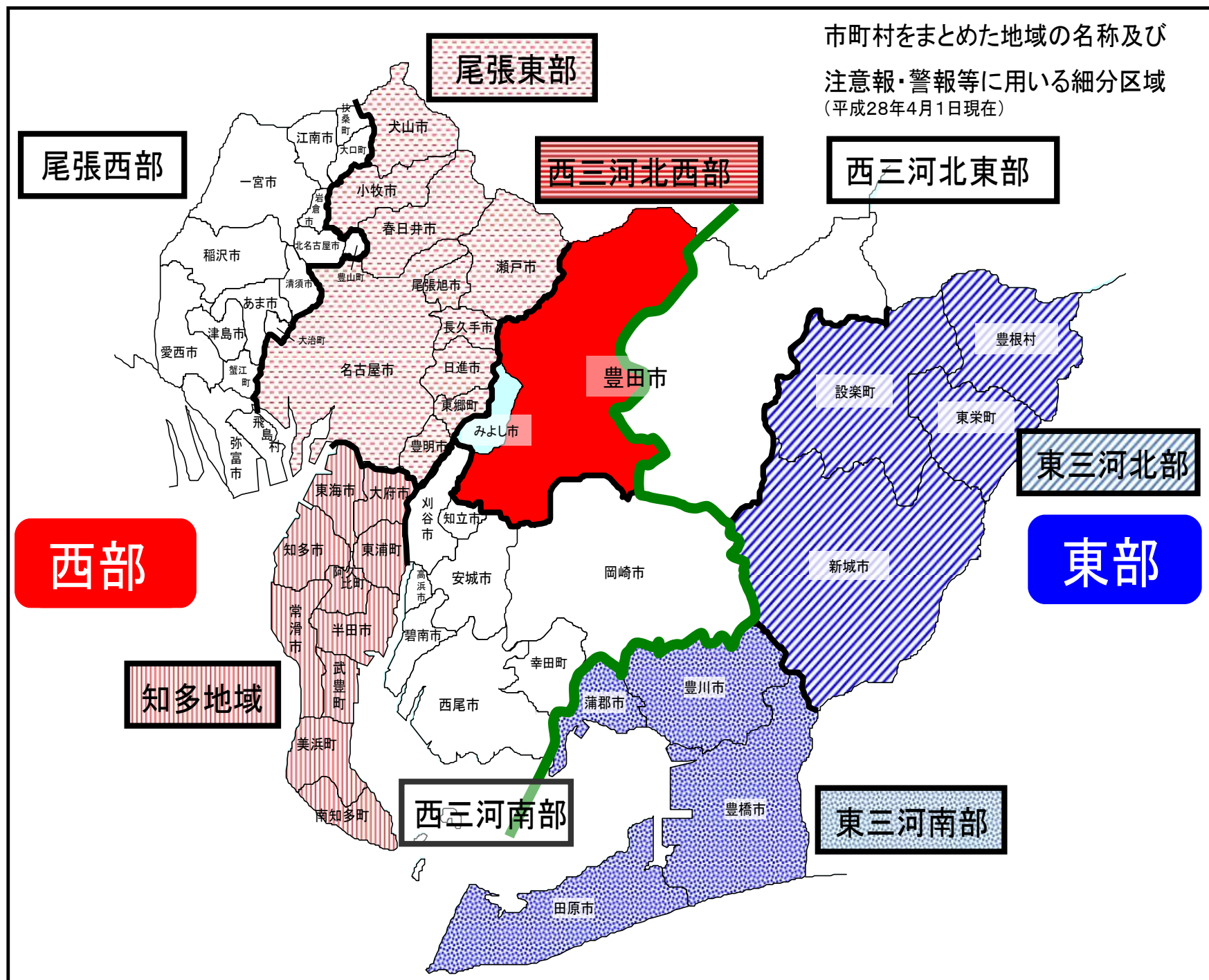
●調査結果（液状化危険度分布）



特に濃尾平野はゼロメートル地帯が広がっているため、津波が収まった後も、潮位による浸水が継続するため、長期にわたって湛水することが予想される。



濃尾平野ならびに岡崎平野や豊橋平野を中心に、液状化危険度が極めて高いエリアが広がっている。（日本最大のゼロメートル地帯を有している。）



地震速報等に用いる細分区域
(平成27年4月1日現在)

